



松 明

(令和7年7月・8月号) 2025 vol.4



表紙 CT装置搬入の様子

より高画質より低被ばくなCT装置を導入

放射線科 副診療放射線技師長 穂 積 彰

当院ではこのたび CT (コンピュータ断層撮影) 装置を「Supria Advance FR (FUJIFILM 16 列 CT)」へ更新しました。逐次近似を応用したノイズ除去技術 (Intelli IP) により、以前より低被ばくでの検査が可能になっています。最小スライス厚 0.625mm スキャンの撮影をすることができ、さらに「Intelli IP」のノイズ除去やアーチファクト (偽像) 低減技術を組み合わせることにより、より高画質・高精細な任意断面再構成 (MPR) や 3D 再構成画像の取得が可能になっており、診断への貢献度が大きく向上しております。以前の装置に比べ装置本体もコンパクトになっていることで、患者様へ優しい検査が可能になり、お子様・高齢の方にも安心してご利用いただけます。

同時に 3D 画像解析システム「SYNAPSE VINCENT」も導入しました。メディカル AI 技術ブランド「REILI (レイリ)」による画像データからの自動抽出機能が充実し、高い画像認識技術を搭載した AI 時代の新しい画像解析システムです。Deep Learning 技術を活用していることで高精度かつ多種多様な 3D 再構成を可能とし、臓器抽出や内臓脂肪測定など各種アプリケーションも搭載していることで、より診断能が向上しております。

当院では、今回更新の CT 検査と MRI 検査の大型医療機器共同利用を行い、院内だけでなく院外のクリニック等近隣医療機関への検査の開放も行っております。ご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。



本号のご案内

- より高画質より低被ばくなCT装置を導入 1
- 健康プラザ 臨床検査技師って何してる人? 4
- 療育だより 様々な場所を巡りました!!! (第3病棟) ... 2
- 外来担当医表 4
- 外出行事でひろがる笑顔 (第5病棟) 2
- 院外散策に行ってきました! (第6病棟) 3

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「「納得の医療」で地域や社会に貢献」を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

5月から外出行事がスタートしました。3病棟のバスハイクは、雨の日に当たってしまうことが多かったのですが、今年は天気に恵まれ、絶好のバスハイク日和となりました。行き先は、福島空港や tette、釈迦堂川周辺の散策等、ドライブしながら須賀川市の観光名所を巡りました。福島空港では、2Fの展望デッキまで行くと、

ちょうど飛行機が到着するところを見ることが出来、飛行機のエンジン音が近づいてくると、大きな発声と共に目を輝かせて、大興奮している様子が見られました。患者様の楽しそうな表情を見ると、とても嬉しくなります。安全に配慮しながら、今後も充実した時間を提供出来るよう努めて参ります。



第5病棟外出行事では、須賀川市の市役所や図書館、福島空港等に出かけました。晴れ間のある日もあればそっと雨が降ることもありました。静かな環境でゆったりと過ごされる方、ウルトラマンヒーローのモニュメントを眺め、ほほ笑む方がおられました。患者様の穏やか

な表情を拝見し、職員の心も自然とほぐれていくようでした。

これからも心に残る時間を大切に、今後も患者様の気分転換、生活の質の向上に取り組んでいきます。



重症心身障がい児（者）6病棟では5月から外出行事が始まりました！

福島空港公園、福島空港、須賀川市役所等の公共施設に患者様と職員で見学に行き、地域社会との交流や五感を刺激する機会となりました。福島空港に行った際には実際に飛行機が飛び立つところが見られ患者様にとって

も貴重な時間となりました。今後も患者様のQOLの向上や新しい経験が得られるよう院外への外出支援を行ってきたいと思います。



健康プラザ

臨床検査技師って何してる人？

研究検査科 臨床検査技師 梅原 さや香

今回は「臨床検査技師って何してる人？」というお話をさせていただきます。

診療には欠かせない検査。私たち臨床検査技師は、患者さんからお預かりした血液・尿・喀痰・便などの検体や、直接患者さんに機械を当てる超音波検査・心電図などの生理検査をもとに体の中で何が起きているのかを探る、いわば“体の中の探偵”です。

例えば、発熱の原因がウイルスによるものか、細菌感染かを見極めるため、血液中の炎症反応や、喀痰・尿などから病原菌を特定します。そして、その菌にどの抗菌薬が有効かを調べる「薬剤感受性試験」も実施します。さらには、その菌が心臓に菌の塊を作っていないか、肝臓などに膿を作っていないかなどを超音波検査で見ることができます。

また、糖尿病や腎臓・肝臓の機能異常など、日常的に行われる検査から症状が出る前の病気の徴候を読み取ることができます。

検査は医師の診断・治療方針の決定に直結するため、正確で迅速な処理が求められます。国立病院機構 福島病院では、地域の皆様の健康を守るため、日々検査の質と精度の向上に努めています。体調に不安を感じたときには、どうぞ検査の力も信じてください。外からは見えないサインを見つける私たち検査技師が、医療の一端をしっかりと支えています！！



【令和7年8月1日現在】